

阿倍野区将来ビジョン（素案）

～誰もが住みたい 住み続けたいまち『あべの』の実現～

つながる・備える



育む・学ぶ



暮らす・支えあう



令和 6 年 7 月

～育む・学ぶ～

こども・若者たちがのびやかに成長できるまち

【概要】

ニーズを的確にとらえた子育てしやすいまちづくりと学校教育のサポートをめざし、保護者・地域・学校園が連携し、こども・若者たちを健やかに育む取組みを支援します。



【戦略2-1】 全てのこどもたちが幸せに成長できる、子育てしやすい環境づくり

【現状・課題】

- ・少子化・核家族化が進む中、地域のつながりの希薄化等により、保護者が子育ての不安や悩みを抱えたまま孤立するなど、こどもとその家庭を取り巻く状況は大きく変化しています。
- ・保護者は様々な問題や悩みを抱えており、それらが子育てに対する保護者の負担感、不安感に繋がっています。また、こどもたちも学校に馴染めない等の様々な悩みを抱えています。
- ・児童虐待の相談対応件数が増加し、内容の複雑化・深刻化が進んでいます。
- ・子育て支援ニーズは複雑多様化しており、そのニーズにきめ細かく対応する必要があります。
- ・児童虐待等の相談対応をするためには、教育機関や児童福祉機関等と連携し、児童虐待の防止、早期発見、アフターケア等、各々の段階に応じた施策の総合的な展開が必要です。
- ・妊娠期から子育て期までの切れ目ない相談支援を行うため、個々に応じた助言や指導を行い、相談者一人一人に対する安定した支援の継続が必要です。

【今後の施策展開の方向性】

引き続き、多様化する子育て世代のニーズに対応した各種事業を継続して実施します。また、児童虐待や不登校など悩みを抱える保護者やこどもたちに対し、専門技術や知識を有する職員を配置して相談体制を充実するとともに、教育と福祉との連携等、関係機関と連携しながら効果的な支援に努めます。

【成果目標】

安心して子育てしやすく、子ども・青少年が健やかに育つ環境があると感じる区民の割合：75%以上

【戦略2－2】 時代の変化に対応した学校教育の推進

【現状と課題】

- ・区内の小中学校について、学力は全体的に高い水準にあります。体力については全国平均に近づいているものの、全国平均を上回る状況ではありません。
- ・区内の小中学校への諸外国からの転入者が増えておりグローバル化が進んでいます。
- ・「生きる力」を育む要素とされている学力と体力の向上は、本市教育行政の最優先課題の一つでもありこどもたちの利益のために重要です。
- ・グローバル化が進み多文化共生が求められる社会において、国際共通語である英語力を身に付けることはこどもの可能性を広げることにともながり重要です。

【今後の施策展開の方向性】

小中学校が教育委員会と共に実施する取組みに加え、市内では高い水準にある学力のさらなる向上や過去と比較して低下している体力の向上を支援するとともに、一段とグローバル化が進むと見込まれる将来を見据えた英語教育支援や、文化芸術に関する教育活動などさまざまな体験ができる教育環境をととのえ、こどもたちのステップアップを支援します。

【成果目標】

各教育支援事業の取組みが有効であると感じる、保護者等の割合：80%以上



運動指導員派遣の様子



あべの子育てマップ